

カリキュラム

コースコード：24-406

タイトル	小規模企業に対する伴走型支援の進め方		
研修のねらい	環境変化が激しく不確実性が高まる時代においては、企業の「経営力そのもの」が重要となり、企業自らが柔軟に自社を変革させていく「自己変革力」を高める必要があり、課題「設定」型の伴走支援の重要性が増しているところです。 本研修では、経営者との対話による課題設定に必要な思考スキルと対話型アプローチを通して、小規模企業の実態に合わせた伴走型支援の手法や進め方について学びます。また、ロールプレイング型演習を交えながら、「対話と傾聴」のスキルを向上させるとともに、対話を通じた課題の発見・設定に有効なフレームワークである「ローカルベンチマーク」、「経営デザインシート」の活用手法を習得します。		
研修の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様を理解し、情報と発想を引き出すための「傾聴力」「質問力」が身につきます。 ・「ローカルベンチマーク」「経営デザインシート」を活用した事業性評価や伴走支援の手法が身につきます。 ・ロールプレイング型の演習を通じ、座学での学びをスムーズに実践につなげることができます。 		
対象者	小規模企業に対する支援スキルの向上を目指す方	定員	20名
		研修期間/時間数	3日 20時間
		会場	中小企業大学校瀬戸校 大教室
		受講料	23,000円

科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
9/10 (火)	9:20~9:40	開講式 オリエンテーション		株式会社ACC 代表取締役 藤井 健太郎
	9:40~17:40 (昼休憩12:00~13:00) (7.0H)	伴走支援の考え方と手法	中小企業・小規模事業者の自走化への動機づけをサポートするための考え方や手法、伴走支援のあり方を理解し、事業者に寄添った経営支援を学びます。 経営者の自己変革力を引き出すための対話姿勢と態度を習得します。 ・対話の基本姿勢と態度 ・創造的対話を実践するための質問技法	
	18:10~19:10	受講者交流会		
9/11 (水)	9:30~12:00	効果的な伴走支援の進め方	伴走支援に有効なフレームワークである「ローカルベンチマーク」及び「経営デザインシート」の活用のポイントを学びます。 ・現状の深掘りに使う「ローカルベンチマーク」 ・将来構想のための思考ツール「経営デザインシート」	株式会社ACC 代表取締役 藤井 健太郎
	13:00~17:30			
9/12 (木)	9:00~16:00 (昼休憩12:00~13:00) (6.0H)	伴走支援の実践に向けて【演習】	これまでに学んだ内容を踏まえ、対話のロールプレイングを行います。 ・経営者役と支援機関職員役に分かれてのロールプレイング ・ロールプレイングの振り返り・講評 ・業務での実践に向けて（研修のまとめ）	株式会社ACC 代表取締役 藤井 健太郎
	16:10~16:20	閉講式		

講師氏名

略歴

藤井 健太郎 (ふじい けんたろう) 株式会社ACC 代表取締役	中小企業診断士・MBA。南山大学法学部（労働法ゼミ）を卒業後、経営コンサルティング会社にて財務・税務・管理会計・経営改善・相続・事業承継などの支援を、保険業界にて企業リスクマネジメント支援や法人営業を経験し、2010年に株式会社ACCを設立。経営改善・役職員意識改革・事業承継・後継者育成・BCP・SDGsなど、シンプルな業務改善よりも、知的資産経営による価値創造と、それらを収益体質向上・財務基盤強化につなげる支援に注力する。建設業、医療・介護業、製造業、卸売業、飲食業、小売業、サービス業、旅館業、教育・保育業など、年商70億円超～数千万円、従業員300名超～0名といった多様な業種・規模の76社における支援実績を持つ。 著書として『新時代の中小企業経営支援の考え方（共著、銀行研修社2022）』『中小企業のBCP策定支援（中小企業診断協会2021）』などがある。
---	---